

平成31年第1回竹原市議会定例会議事日程 第5号

平成31年3月15日（金） 午前10時開議

会議に付した事件

- 日程第 1 議案第 1号 平成31年度竹原市一般会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 2 議案第 2号 平成31年度竹原市国民健康保険特別会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 3 議案第 3号 平成31年度竹原市貸付資金特別会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 4 議案第 4号 平成31年度竹原市港湾事業特別会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 5 議案第 5号 平成31年度竹原市公共下水道事業特別会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 6 議案第 6号 平成31年度竹原市公共用地先行取得事業特別会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 7 議案第 7号 平成31年度竹原市介護保険特別会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 8 議案第 8号 平成31年度竹原市後期高齢者医療特別会計予算（予算特別委員会）
- 日程第 9 議案第 9号 平成31年度竹原市水道事業会計予算（予算特別委員会）
- 日程第10 議案第30号 工事請負契約の締結について
- 追加日程第1 議案第30号 工事請負契約の締結について（総務文教委員会）
- 日程第11 発議第31-2号 竹原市議会委員会条例の一部を改正する条例案
- 日程第12 発議第31-3号 本郷産業廃棄物最終処分場建設計画に係る意見書（案）
- 日程第13 発議第31-1号 食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書（案）
- 日程第14 閉会中継続審査（調査）について
（総務文教委員会・民生都市建設委員会）

平成31年3月15日開議

(平成31年3月15日)

議席順	氏名	出席
1	下垣内 和春	出席
2	今田 佳男	出席
3	竹橋 和彦	出席
4	山元 経穂	出席
5	高重 洋介	出席
6	堀越 賢二	出席
7	川本 円	出席
8	井上 美津子	出席
9	大川 弘雄	出席
10	道法 知江	出席
11	宮原 忠行	出席
12	吉田 基	欠席
13	宇野 武則	出席
14	松本 進	出席

職務のため議場に出席した者は、下記のとおりである

議会事務局長 住田 昭徳

議会事務局係長 矢口 尚士

説明のため議場に参加した者は、下記のとおりである

職 名	氏 名	出 欠
市 長	今 榮 敏 彦	出 席
副 市 長	田 所 一 三	出 席
教 育 長	高 田 英 弘	出 席
総 務 部 長	平 田 康 宏	出 席
企 画 振 興 部 長	桶 本 哲 也	出 席
市 民 生 活 部 長	宮 地 憲 二	出 席
福 祉 部 長	久 重 雅 昭	出 席
建 設 部 長	有 本 圭 司	出 席
教育委員会教育次長	中 川 隆 二	出 席
公 営 企 業 部 長	平 田 康 宏	出 席

午前10時00分 開議

議長（大川弘雄君） おはようございます。

予算特別委員会では、新年度予算の審査をいただき大変御苦労さまでした。

ただいまの出席議員は13名であります。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

お手元に議事日程第5号を配付しております。この日程表のとおり会議を進めます。

日程第1～日程第9

議長（大川弘雄君） 日程第1，議案第1号平成31年度竹原市一般会計予算から日程第9，議案第9号平成31年度竹原市水道事業会計予算までの9件を一括議題といたします。

本件は、予算特別委員会に付託していたものであります。よって、委員長の報告を求めます。

6番堀越賢二予算特別委員会委員長。

予算特別委員会委員長（堀越賢二君） それでは、予算特別委員会委員長報告をいたします。

当委員会へ付託されました議案第1号平成31年度竹原市一般会計予算，議案第2号平成31年度竹原市国民健康保険特別会計予算，議案第3号平成31年度竹原市貸付資金特別会計予算，議案第4号平成31年度竹原市港湾事業特別会計予算，議案第5号平成31年度竹原市公共下水道事業特別会計予算，議案第6号平成31年度竹原市公共用地先行取得事業特別会計予算，議案第7号平成31年度竹原市介護保険特別会計予算，議案第8号平成31年度竹原市後期高齢者医療特別会計予算，議案第9号平成31年度竹原市水道事業会計予算，以上の9会計につきまして，4回の個別審査を行い，2日間の全体質疑において慎重審査，討論，採決を行いました。

主な質疑といたしましては，第6次竹原市総合計画において重点テーマとされている「平成30年7月豪雨災害からの早期復旧・復興」に係る関連事業である「公共土木施設災害復旧事業」「農林水産施設災害復旧事業」について，一日も早い工事着手と完了に向けての取組や，小規模の箇所についても他市町の先進事例を参考にすべきではないか，そして何より住民に対し丁寧な説明を行うことが必要ではないかとの質疑がありました。

これらに対して，工事入札には関係機関と連携しスピード感を持って対応し，大規模事

業以外においても被災箇所の早期復旧・復興のため積極的な情報収集を図っていきながら、住民の皆さんに「たけはら災害復旧かわら版」を適宜発行し、回覧にて周知に努めていきたいとの答弁がありました。

次に、総合計画において掲げられている将来像の2「“文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち」を実現するための事業のうち、放課後児童クラブの運営については、現在直営方式と委託方式の両方があるが、これらは全て委託方式に移行すべきではないかとの質疑に対し、教育委員会とも連携し今後は委託の方向で検討していくとの答弁がありました。

また、竹原中学校外壁改修事業については、単一事業として捉えるのではなく施設の長寿命化も視野に入れ、連続性を持って効果的・効率的な方法を考えるべきではないかとの質疑に対しては、現場の状況を把握し検討していくとの答弁がありました。

次に、将来像の4として掲げられた「瀬戸内の恵まれた風土と市民の絆のもと、誰もが安全・安心で快適に生活できるまち」を実現するための事業のうち、合併処理浄化槽設置事業補助金については、新築の場合には合併処理浄化槽の設置が義務づけられていることにより補助金の対象外となる点について、公共下水道事業の計画区域の縮小を踏まえ、また、定住促進の観点からも検討が必要ではないかとの質疑に対し、補助金の設立趣旨等を踏まえ、角度を変えたいろいろな政策検討の中で進めてまいりたいとの答弁がありました。

また、住宅改修助成事業補助金については、大きな事業効果が望めることから対象範囲を限定すべきではないのではないかと質疑に対し、現在の状況を鑑みての対象者としていますが今後調査検討していくとの答弁でありました。

次に、総合計画の前期基本計画において重点的に取り組む施策として位置づけられた「たけはら元気プロジェクト」に係る事業のうち、観光プロモーション事業については、大都市圏だけでなく近隣地域にしっかりと目を向けて取り組むべきではないかとの質疑に対し、平成30年度からの内容を見直し、関係者のモニターツアーや商品開発を行い観光消費額の拡大や滞在時間の延長に努めていきたいとの答弁がありました。

その他、各種事務事業に関しては、介護福祉用具購入費の支払い方法について、現在の償還払い方法では利用者にとって急な費用負担となることから受領委任払いを検討する必要があるのではないかと質疑に対し、今後そのように検討していくとの答弁がありました。

歳入においては、市所有の未利用地等の有効活用やふるさと納税・企業版ふるさと納税について検討していく必要があるのではないかと質疑に対し、歳入アップのためしっかりと調査・研究していくとの答弁がありました。

以上の主な質疑を踏まえ、9議案につきまして採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決したものであります。

なお、このたびの平成31年度予算を審査する過程においては、今回の予算が昨年発表された「財政健全化計画」を受けての予算であることから、その実効性などに対し各委員から厳しい意見もありました。

将来世代への過度な負担を先送りすることは許されないことから、執行部におかれては、これら委員からの意見を真摯に受けとめ、魅力あるたけはらのまちづくりへの再構築に向け、職員一丸のもと「限られた財源において最大の効果」を求め続けることが重要であるものと考え、以下の点について強く要望します。

1 本市の最上位計画である「第6次竹原市総合計画」を基軸とした将来都市像を目指すため、前期基本計画「たけはら元気プロジェクト」に体系づけた事業を実効性のある事業の選択と集中により必ず実行すること。

2 昨年7月の豪雨災害からの早期復旧・復興を推進するため、確かな財源確保と執行体制を確立すること。

3 持続可能な財政構造の確立に向けた「財政健全化計画」を確実に遂行の上、その効果額を必ず予算に反映させること。

以上をもって予算特別委員会委員長報告を終わります。

議長（大川弘雄君） 報告が終わりました。

お諮りいたします。

委員長報告に対する一括質疑については、質疑を省略したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） 御異議なしと認めます。よって、委員長報告に対する一括質疑につきましては、質疑を省略いたします。

これより順次討論、採決いたします。

議案第1号平成31年度竹原市一般会計予算、本案に対する委員長報告は原案可決であります。

これより討論に入ります。

討論の通告がありますので、順次発言を許します。

それではまず、14番松本進議員。

14番（松本 進君） 私は、議案第1号2019年度、平成31年度竹原市一般会計予算案の反対討論を行います。

竹原市政の第一の仕事は、市民の暮らしと命、安全を守ることであります。それは憲法25条の生存権や地方自治法の第1条の2、住民の福祉の増進等で明らかであります。内閣府は3月7日、景気は既に後退期に入った可能性が高いことを示す、下方への局面変化に基調判断を引き下げた、または戦後最長の景気拡大と政府が胸を張ったのは1月下旬だった、2カ月たたないうちにうそのような変調である等々の新聞報道があります。国内の景気が落ち込みの局面に入ったことをついに政府自身が認めています。ところが、安倍政権は今年10月から消費税10%への増税を強行しようとしています。竹原市の2019年度予算案の歳出、消費税負担総額は4億6,005万9,000円余りです。景気の悪化の可能性が生まれている中で、消費税10%への増税は市民の暮らしや日本経済にとって悪影響を与えることは明らかです。市長は国政問題であっても消費税10%への増税中止を政府に意見表明すべきと考えます。

次に、竹原市総合計画基本構想は竹原市の10年後のまちづくりを示し、2028年の人口目標は2万1,000人です。これは、現状趨勢推計人口値より10年間で約300人、人口減少を抑制するだけの極めて消極的な目標であります。竹原市が前期第5次総合計画の分析から、人口減少の最大の原因は20歳代から40歳代の女性の社会流出です。ここに有効な対策をとることこそ人口減少の防止策、すなわち子育て支援策等が新年度予算案に拡充・強化されていません。また、立地適正化計画に基づくまちづくりでは、竹原市の人口減少と衰退を加速させるだけであります。私は竹原市の子育て支援対策の拡充、新設や地元業者の仕事確保など、人口減少を防止する有効な施策を提言したいと思えます。

1つには、若者に夢と希望の持てる子育て支援策です。中学校卒業までの医療費無料化、学校給食や学校教材備品等義務教育の保護者負担をゼロにすること、さらに出産医療体制の確立など、粘り強く取り組むことをまちづくりの中心にすべきであります。

2点目には、住宅リフォーム助成事業の制度改善と大幅な予算増額です。誰でも気軽に使える制度へ抜本的に改善すれば、市民の快適な住環境の整備と市内業者の仕事を増や

し、地域を元気にすることは間違いないと考えます。

次は、従来の公共事業を抜本的に見直すべきことについてです。

第1に、新開土地区画整理事業は、2019年度までで約50億円を超える巨額な投資にも関わらず、竹原市人口減少の歯止めにはなっていません。この事業を凍結、見直しすべきであります。

2点目に、7月豪雨災害のがけ崩れでは、人家2戸以上の未整備が2カ所、人家1戸の39カ所余りが復旧工事の対象から外れて、市民の安全、命が脅かされています。竹原市は今ある制度の拡充など、個人負担を抜本的に軽減する真剣な対応を強く求めておきたいと思えます。特に、本町2丁目の5のがけ崩れは人家も多く、近くにこども園施設があります。災害の復旧工事の早期実施を改めて強く求めます。

次は、教育費についてです。

1つ、公民館施設は、社会教育法第20条、住民の実際生活に則する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進などに寄与することを目的とすることを明確に定めています。この役割はますます重要であります。この公民館施設を廃止して地域交流センターのまちづくり、人づくりと指定管理者に管理運営を任せるということでは、明確な公民館事業の継続の担保にはなりません。

2つ、竹原市小中学校の学級教材費の保護者負担解消の進展が全くありません。子育て支援の政策と同時に憲法26条、教育基本法第4条、学校教育法第19条の理念、すなわち義務教育の無償化を早急に取り組むことを重ねて強く求めます。また、教員の長時間労働の解消は緊急重要な課題であります。子どもの学力向上や健全な成長にとっても不可欠な教育環境の整備であることを強く指摘したいと思えます。

次に、ごみ減量化と新ごみ処理施設建設、広島中央エコパーク整備事業についてです。

竹原市の家庭ごみ減量の現状は、平成27年の1人1日当たりのごみ排出目標値885グラムに対する実績値は941グラムで、目標値を56グラム増、6.3%増となっています。指定ごみ袋導入後の1人1日当たりの可燃ごみ排出量は平成29年361グラムから平成30年369グラムへと8グラムの増加、2.2%の増加であります。

家庭ごみ減量化を最大の目的とした指定ごみ袋の有料化が今厳しく問われています。今ごみ処理行政に必要なことは、家庭ごみ等の減量、再生、資源化、3Rの具体化、分別収集が決め手であります。この取組を本気で実施しないで、広島中央エコパーク整備事業、

総事業費 241億344万円を強引に進めることは最大の無駄遣いであります。ごみ処理行政を定めた循環型社会形成推進基本法のごみ処理の優先順位、3Rの具体化を強く求めておきます。

次に、常備消防委託料については、消防組織法第6条に定める市の責務を放棄し、市民の生命、財産を東広島消防局に丸投げする予算であります。特に、昨年7月豪雨での被災の教訓を生かす、市民に直接責任を持てる消防組織活動に改めることを強く求めます。

次に、人権推進事業費等についてです。

同和問題の解決の旧特別法が終了して、同和地区の指定はなくなっています。しかし、竹原市は旧態依然の隣保館事業、人権センター事業、教育集会所や地域集会所の施設管理費、部落解放同盟の団体補助金等々が継続実施することは、部落差別を逆に固定化させるだけであります。公平、平等な行政執行の大原則からもこの予算措置の是正廃止を早急に実施すべきことを強く指摘します。

最後に、市民サービスを支える市職員の勤務条件の改善が遅々として進んでいません。昨年7月豪雨災害の対応では、月80時間の過労死ラインを超える長時間勤務が10課109人となっています。市職員の増員が適正に実施されるように強く求めます。

以上で私の議案第1号2019年度一般会計予算に反対する討論といたします。

議長（大川弘雄君） 次は、8番井上美津子議員お願いします。

8番（井上美津子君） 私は、議案第1号平成31年度竹原市一般会計予算案について賛成の立場で討論に参加いたします。

平成31年度当初予算案の概要において、平成31年度は第6次竹原市総合計画のスタートの年度であり、予算編成において将来都市像「元気と笑顔が織りなす暮らし誇らし、竹原市。」の実現に向け、竹原市元気プロジェクトに体系づけられた事業及び災害からの着実な復旧・復興のための事業を重点的に予算配分されたと述べられております。

また、本市の財政状況は大変厳しい状況にあり、平成31年1月に財政健全化計画を策定し、弾力的かつ収支の均衡した持続可能な財政構造の確立に向けた財政基盤づくりを推進しており、当初予算の編成に当たっては、既存事業を再確認し、効果の少なくなっている事業の見直しを行い、これまで以上に実効性のある事業の選択と集中に取り組んだとも述べられております。

このたびの平成31年度一般会計予算は134億5,806万2,000円、平成30年度に比べ1億2,219万7,000円、率にして10%増になっており、近年になく

大型予算になっております。その中で新規拡充等主な事業は、元気な竹原市の実現に向けた取組の中で、重点テーマである平成30年7月豪雨災害からの早期復旧・復興に向けた取組のうち、くらしの再建のための事業として地域支え合いセンター運営事業、まちの復旧のための事業として公共土木施設災害復旧事業など3事業、そなえの強化のための事業として災害廃棄物処理計画策定事業など6事業。本市が目指すべき4つの将来像、7つの目標像のうち、将来像1「自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち」を実現するための事業のうち、目標像1「竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれている」のための事業として、日本遺産北前船寄港地活用事業など22事業。将来像2「“文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち」を実現するための事業のうち、目標像2「子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている」のための事業として、幼児教育無償化事業やコミュニティ・スクール導入事業など28事業、目標像3「市民一人一人が自ら学び、様々な場面で協力しながら活躍している」のための事業として、地域交流センター事業など7事業。将来像3「誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち」の実現をするための事業のうち、目標像4「様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている」のための事業として、プレミアム付商品券事業など17事業、目標像5「誰もがお互いに尊重し合い、いつまでもはつらつと活躍している」のための事業として、風疹感染拡大防止事業など42事業。将来像4「瀬戸内の恵まれた風土と市民の絆のもと、誰もが安全・安心で快適に生活できるまち」を実現するための事業のうち、目標像6「生活の基盤が整備され、快適に暮らしている」のための事業として、公共下水道雨水対策事業など18事業、目標像7「市民が支え合う絆を大切に、安全・安心な生活環境が確保されている」のための事業として大規模盛土造成宅地調査事業など20事業が提案されております。

これらの事業を展開することにより、市が抱える課題に対し最大の効果が上がり、確実に課題解決することが大切であり、このたびの予算は課題解決のための予算となっていると考えます。

執行に当たりましては、まずは平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興が最優先であります。財政健全化計画に基づいて、スピード感を持ち、全庁を挙げ、職員一丸となつて着実に実行されることを信じて議案第1号平成31年度竹原市一般会計予算に賛成いたします。

議長（大川弘雄君） 以上で通告による討論は終わりました。

ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（大川弘雄君） 採決を確定いたしましたので、着席を願います。

起立多数であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第2号平成31年度竹原市国民健康保険特別会計予算、本案に対する委員長報告は原案可決であります。

これより討論に入ります。

討論の通告がありますので、順次討論を許します。

14番松本進議員。

14番（松本 進君） 私は、議案第2号2019年度、平成31年度竹原市国民健康保険特別会計予算案の反対討論を行います。

2019年度国民健康保険予算は、1人当たりの国保税が2018年度比で2,613円の増額、率で3.41%増額であります。特に、基礎課税額の所得割が7.15%から7.19%へ0.04ポイント増額に対して、同被保険者均等割額すなわち加入者人数割が、率で6.06%増額、同世帯別平等割額が率で0.8%増額であります。このように、国保の加入者数に応じて課税を強化すれば、所得が少ない世帯の重税感はさらに加速されてしまいます。市民の医療権、生存権が脅かされることは明らかなと考えます。

竹原市の国保加入者の総所得金額の階層別の割合は、2017年度所得なしが23.53%、所得100万円未満が33.39%で、合計で56.92%は生活保護基準以下の生活を強いられることにもなります。国保加入者の就業関連資料では、年金雑所得が38.83%、無職が23.71%で合計62.54%が所得が少ない世帯ではないでしょうか。

また、年収400万円、30歳代夫婦と子ども2人、この世帯の竹原市国保税の試算は年間38万6,600円です。同じ世帯条件で1兆円の公費投入による協会けんぽ並みの保険料では16万7,813円となります。竹原市国保税は協会けんぽ並みよりも21万

8, 787円高い, 2.3倍の負担となっています。医療保険制度の公平性の原則からも国保税は異常に高い負担です。全国知事会が求める公費1兆円の投入の実現が急がれます。同時に、竹原市でも子どもの少子化対策などあらゆる施策の実施を強く求めておきたいと思います。

以上で私の議案第2号2019年度の国保会計予算案に反対する討論といたします。

議長（大川弘雄君） 以上で通告による討論は終わりました。

ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（大川弘雄君） 採決を確定いたしましたので、着席を願います。

起立多数であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第3号平成31年度竹原市貸付資金特別会計予算、本案に対する委員長報告は原案可決であります。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（大川弘雄君） 採決を確定いたしましたので、着席を願います。

起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第4号平成31年度竹原市港湾事業特別会計予算、本案に対する委員長報告は原案可決であります。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（大川弘雄君） 採決を確定いたしましたので、着席を願います。

起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第5号平成31年度竹原市公共下水道事業特別会計予算、本案に対する委員長報告は原案可決であります。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（大川弘雄君） 採決を確定いたしましたので、着席を願います。

起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第6号平成31年度竹原市公共用地先行取得事業特別会計予算、本案に対する委員長報告は原案可決であります。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（大川弘雄君） 採決を確定いたしましたので、着席を願います。

起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第7号平成31年度竹原市介護保険特別会計予算、本案に対する委員長報告は原案可決であります。

これより討論に入ります。

通告がありますので、発言を許します。

14番松本進議員。

14番（松本 進君） 私は、議案第7号2019年度、平成31年度竹原市介護保険特別会計予算案の反対討論を行います。

竹原市介護保険料は2018年度から第1段階から第9段階の全段階の保険料が3.9%増額されました。所得段階別保険者数を見ると、本人及び世帯全員が市民税非課税の人すなわち1から3段階は3,778人、被保険者総数の37.11%です。

保険料滞納者数の推移を見ると2016年度143人、2017年度132人から、保険料が値上げされた2018年度は204人と前年度比で72人、率で54.5%滞納が急増しております。市民の暮らしを脅かす高い介護保険料は一般財源を充当してでも、憲法25条の生存権を守る施策を実施すべきであります。

次は、介護施設サービス等についてです。

竹原市の特養老人ホームの待機者は116人、在宅要介護者が施設入所を希望したり、また介護休暇取得後に仕事に復帰したいと思っても、その願いは極めて困難な事態であります。人間の尊厳が保障される介護保険制度への充実、憲法25条の生存権を守る社会保障制度の確立は切実な願いであります。介護離職者ゼロを体現できる介護施設等の増床や要介護者、介護者の安心・安全の願いに応える介護サービスの実施を強く求めておきたいと思えます。

以上で議案第7号の反対討論といたします。

議長（大川弘雄君） 以上で通告による討論は終わりました。

ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（大川弘雄君） 採決を確定いたしましたので、着席を願います。

起立多数であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第8号平成31年度竹原市後期高齢者医療特別会計予算、本案に対する委員長報告

は原案可決であります。

これより討論に入ります。

通告がありますので、発言を許します。

14番松本進議員。

14番（松本 進君） 私は、議案第8号2019年度、平成31年度竹原市後期高齢者医療特別会計予算案の反対討論を行います。

後期高齢者医療の保険料は2年ごとに改定されます。75歳以上の医療費と人口の増加があれば、際限なく保険料の値上げが繰り返される仕組みとなっています。2019年度の医療保険料は、今年10月からの消費税10%への増税に伴い、最大の負担軽減措置が行われても、定額部分の保険料は月額379円から758円と2倍になるとの報告でした。年金収入がゼロ、無年金の高齢者でも支払う制度であります。これは、憲法25条の生存権や医療を受ける権利を脅かすことは明らかであります。

後期高齢者医療保険料の滞納者は平成28年度50人、平成29年度30人です。滞納者のペナルティーは、医療保険の短期保険証発行が平成28年度、29年度各8件、平成30年度が24件と急増しています。支払いが困難な保険料滞納者に対する短期保険証等の懲罰を科すことは、憲法25条の生存権を脅かすもので断じて許されないと私は考えます。

私は、緊急措置として年金収入が月額1万5,000円以下の高齢者には、保険料相当額を市独自で支援するなどの対策を強く求めたいと思います。私は、75歳以上の年齢区分を設けて、2年ごとに保険料を値上げする仕組みの後期高齢者医療制度の廃止を重ねて求めます。

以上で私の反対討論といたします。

議長（大川弘雄君） 以上で通告による討論は終わりました。

ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（大川弘雄君） 採決を確定いたしましたので、着席を願います。

起立多数であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第9号平成31年度竹原市水道事業会計予算、本案に対する委員長報告は原案可決であります。

これより討論に入ります。

通告がありますので、発言を許します。

14番松本進議員。

14番（松本 進君） 私は、議案第9号2019年度、平成31年度竹原市水道事業会計予算案の反対討論を行います。

広島県用水の受水費は、2019年度予算案で1億9,863万6,000円です。水道事業費8億3,189万5,000円の23.87%を占めています。市民の水道水の廉価、安定供給を考えれば、水道事業費の最大の負担割合を占める広島県用水受水費の縮減、廃止は市の責務と考えます。竹原市は賀茂川水系など飲料水を取水する貴重な水源があります。竹原市民の宝と言うべき貴重な資源、自己水源を十分に活用しないで県用水を受水することは許されません。広島県用水受水の当初の目的である大口需要の水源確保のためなら、大口需要者に応分の負担を求めていくことが必要ではないでしょうか。

しかし、2016年度10月から水道料金は従量料金制の導入で工業用水の区分を廃止したため、市民の生活水を大幅に値上げをしています。また、7月豪雨災害の復旧工事費5,180万円は、激甚災害指定の3分の2の補助金は適用外という説明でした。激甚災害の復旧費を考えれば、竹原市の一般財源の充当が必要ではないでしょうか。また、水道事業の安定経営のためにも国への財源確保の働きかけを強く求めておきます。

以上で議案第9号2019年度水道事業会計予算に反対をいたします。

議長（大川弘雄君） 以上で通告による討論は終わりました。

ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（大川弘雄君） 採決を確定いたしましたので、着席を願います。

起立多数であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第10

議長（大川弘雄君） 日程第10，議案第30号工事請負契約の締結についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

総務部長。

総務部長（平田康宏君） ただいま議題となりました議案につきまして御説明申し上げます。

追加提出いたしました議案書の1ページ，議案説明書の9ページをお開きください。

議案第30号工事請負契約の締結について御説明申し上げます。

本案は，（仮称）竹原市立たけはら認定こども園建設工事の請負契約を締結することについて，議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により，議会の議決を求めるものであります。

この工事は，子育て環境が充実し，安心して子どもを育てることができるまちづくりを推進するとともに，施設の老朽化等に伴う児童の安全確保を図るため，児童数や保育需要の動向も踏まえ，竹原地区の保育所，幼稚園を統合し，新たに認定こども園を整備するものであります。

主な工事内容といたしましては，園舎の新築並びに園庭等の外構工事を行うものであります。園舎については床面積1，112.96平方メートルの木造2階建てとし，保育室，遊戯室及び子育て支援室を整備いたします。

契約の相手方の決定方法につきましては，市内建設業者の入札参加機会の確保も考慮し，特定建設共同企業体による事後審査型の条件つき一般競争入札とし，建設工事入札参加者選定委員会を本年1月10日に開催し，特定建設共同企業体の代表者及び構成員の参加資格要件をそれぞれ定め，1月11日に入札を公告，2月15日に電子入札システムにより開札を行いました。

有効な入札を行った特定建設共同企業体2社のうち，最低価格で入札のあった平原・勝谷特定建設共同企業体について事後審査を行ったところ，同共同企業体に参加資格要件を満たしていることを確認いたしましたので，落札者と決定したものであります。

契約金額は，落札額に消費税相当額を加えた5億1，648万8，400円，落札率は94.03%であります。

工期につきましては、完成期日を平成32年2月14日と定め、工事の品質及び施工中の安全を確保すべく適切な工事監理を行うとともに、社会福祉課と連携を密にし、工期内完成に努めてまいります。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

議長（大川弘雄君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第30号工事請負契約の締結については総務文教常任委員会に付託いたします。

この後直ちに総務文教委員会を開催し、審査終了後本会議を再開いたします。

その間暫時休憩いたします。

午前10時49分 休憩

午後 1時48分 再開

議長（大川弘雄君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

本会議の休憩中総務文教委員会が開催され、付託案件の審査が終了したことから、先ほど議長に委員会報告書が提出されました。

お諮りいたします。

付託議案である議案第30号工事請負契約の締結について（総務文教委員会）、これを日程に追加、議題として以降の日程を順次繰り下げたいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） 御異議なしと認めます。よって、議案第30号を日程に追加、議題とし、以降の日程を順次繰り下げることと決定いたしました。

追加日程第1

議長（大川弘雄君） 追加日程第1、議案第30号工事請負契約の締結について（総務文教委員会）。

本件は総務文教常任委員会に付託となっていたものであります。よって、委員長の報告

を求めます。

2 番今田佳男総務文教常任委員長。

総務文教常任委員会委員長（今田佳男君） 委員会審査報告をいたします。

総務文教委員会に付託された議案，議案第 30 号工事請負契約の締結については，第 1 回の委員会で詳細にわたる質疑，委員外議員の質疑，自由討議，第 2 回の委員会で大綱的な質疑，討論，採決をいたしました。

採決の結果，全会一致で可決となりました。

以上，報告を終わります。

議長（大川弘雄君） 報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。

質疑の発言を許します。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論，採決いたします。

議案第 30 号工事請負契約の締結について，本案に対する委員長報告は原案可決であります。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（大川弘雄君） 採決を確定いたしましたので，着席を願います。

起立全員であります。よって，本案は原案のとおり可決されました。

日程第 11

議長（大川弘雄君） 日程第 11，発議第 31 - 2 号竹原市議会委員会条例の一部を改正する条例案を議題といたします。

本件は議会運営委員会提出議案であります。よって、委員長の説明を求めます。

7 番川本円議会運営委員会委員長。

議会運営委員会委員長（川本 円君） ただいま議題となりました発議第31-2号竹原市議会委員会条例の一部を改正する条例案について御説明申し上げます。

今期定例会において可決いたしました議案第21号竹原市事務分掌条例の一部を改正する条例案により、平成31年4月1日から市の組織体制が変更となります。これに伴い、竹原市議会の常任委員会の所管する事務の範囲について、新たな市の組織体系に応じたものとするため、この条例案を提出するものであります。

改正の内容につきましては、総務企画部や地域振興部など、このたびの組織体制の変更により新たにできた部を、それぞれの常任委員会の所管する事務の範囲として割り当てるとともに、民生都市建設委員会の名称を民生産業委員会に改めるものであります。

発議第31-2号については以上であります。何卒慎重に御審議した上、議員の適切な御決定をお願い申し上げます。

以上です。

議長（大川弘雄君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（大川弘雄君） 採決を確定いたしましたので、着席を願います。

起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

議長（大川弘雄君） 日程第12，発議第31－3号本郷産業廃棄物最終処分場建設計画に係る意見書（案）を議題といたします。

本件は，民生都市建設常任委員会提出議案であります。よって，委員長の説明を求めます。

3番竹橋和彦民生都市建設常任委員会委員長。

民生都市建設常任委員会委員長（竹橋和彦君） それでは，発議第31－3号本郷産業廃棄物最終処分場建設計画に係る意見書（案）について御説明申し上げます。

現在，広島県に申請がされている三原市本郷町に安定型最終処分場を設置する計画に対して，竹原市民は安定型最終処分場の安全性，そしてこの計画に伴う汚染水の流出や自然災害による廃棄物流出の可能性について大きな不安を持っております。しかし，事業者からの説明が不十分であることから，市民の不安は増大し，2月22日には竹原市議会に対し本郷産業廃棄物最終処分場建設計画に伴う市民の不安の解消を求める請願が提出され，同月27日に全会一致で採択されたところであります。この請願の趣旨を踏まえ，広島県に対し意見書を提出するべく協議を行い，3月12日に開催した民生都市建設委員会において全会一致で決したものであります。

意見書の内容につきましてはお手元に配付しております意見書（案）のとおりであります。事業者において計画の安全性について説明を尽くすことで市民の不安を解消し，もって周辺地域との合意形成に努める必要があるものと考え，広島県に対し，こうした考えを事業者に伝えるとともに，適切な指導に努めていただくよう要望するものであります。

慎重に御審議の上，御決定いただきますようよろしくお願いいたします。

議長（大川弘雄君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

議長（大川弘雄君） 採決を確定いたしましたので、着席を願います。

起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第13

議長（大川弘雄君） 日程第13，発議第31-1号食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書（案）を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

10番道法知江議員。

10番（道法知江君） 発議第31-1号意見書（案）についての説明をさせていただきます。趣旨説明は文書を読んで説明にかえさせていただきたいと思います。

食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書（案）。

まだ食べることができる食品が、生産、製造、販売、消費の各段階で破棄されているいわゆる食品ロスの削減は、今や我が国において喫緊の課題と言える。国内で発生する食品ロスの量は年間646万トンと推計されており、これは国連の世界食糧計画（WFP）が発展途上国に食料を援助する量の約2倍に上る。政府は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に沿い、家庭での食品ロスの量を2030年度までに半減させることを目指しているが、事業者を含め国民各層の食品ロスに対する取組や意識啓発は、今や必要不可欠である。

食品ロスを削減していくためには、国民一人一人がおのおのの立場において主体的にこの課題に取り組み、社会全体として対応していくよう、食べ物を無駄にしない意識の醸成とその定着を図っていくことが重要である。

また、まだ食べることができる食品については、廃棄することなく、貧困、災害等により必要な食べ物を十分に入手することができない人に提供するなど、できるだけ食品として活用していくことが重要である。

よって、国におかれては、国、地方公共団体、事業者、消費者等が一体となって食品ロス削減に向けての取組を進めるため、下記の事項について真摯に取り組むことを強く求める。

1. 国、地方公共団体、事業者、消費者等の多様な主体が連携し、食品ロスの削減を総

合的に推進するため、法律の制定を含めたより一層の取組を実施すること。

2. 商い慣習の見直し等による食品事業者の廃棄抑制や消費者への普及・啓発、学校等における食育・環境教育の実施など、食品ロス削減に向けての国民運動をこれまで以上に強化すること。

3. 賞味期限内の未利用食品や備蓄品等を必要とする人に届けるフードバンクなどの取組をさらに支援すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出させていただきます。

議員各位におかれましては、何卒慎重に御審議をいただいて御決定をお願い申し上げます。

以上です。

議長（大川弘雄君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） これをもって討論を終結いたします。

これより起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（大川弘雄君） 採決を確定いたしましたので、着席を願います。

起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第14

議長（大川弘雄君） 日程第14、閉会中継続審査（調査）についてを議題といたします。

お手元に配付いたしておりますとおり、各常任委員会委員長から、会議規則第111条の規定に基づき閉会中の継続審査の申し出がありました。

お諮りいたします。

それぞれの委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることにいたしたいと思
います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） 御異議なしと認めます。よって、それぞれの委員長から申し出のと
おり、閉会中の継続審査とすることに決しました。

お諮りいたします。

議決されました各案件につきましては、その条項、字句、数字、その他の整理を要する
ものにつきましては、その整理を議長に御一任願いたいと思います。これに御異議ありま
せんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大川弘雄君） 御異議なしと認めます。よって、条項、字句、数字、その他の整理
は議長に委任することに決定いたしました。

以上をもって今期定例会に付議された案件は全て議了いたしました。

ここで、市長より発言の申し出がありましたので、これを許可いたします。

市長。

市長（今榮敏彦君） 閉会に当たりまして、一言お礼の御挨拶を申し上げます。

去る2月19日に開会いたしました本定例会におきましては、平成31年度の一般会
計、特別会計及び水道事業会計の各予算をはじめ、多くの重要な案件につきまして、長期
間にわたり終始精力的な御審議の上、御決定いただき、本日閉会の運びとなりましたこと
に、厚く御礼申し上げます。御決定いただきました新年度予算につきましては、本会期中
に議員各位から賜りました御意見、御提言を踏まえ、効果的かつ効率的な執行に努め、元
気な竹原市の実現に向け、事業を推進してまいりたいと考えております。

さて、4月から今後の10年間の市政運営の指針となる第6次竹原市総合計画が新たに
スタートいたします。本市を取り巻く行財政の環境は極めて厳しい状況にあります。1
0年後の将来都市像「元気と笑顔が織りなす暮らし誇らし、竹原市。」を実現する施策を
推進するために、財政健全化計画をはじめ、行財政経営強化方針に基づく具体的な取組を
通じて、弾力的かつ収支が均衡した持続可能な行財政運営を確立してまいりたいと考えて
おります。

また、本市の魅力を外内に積極的かつ効果的に発信し、にぎわいの創出につなげていく

ための様々な取組を推進していくとともに、市民の皆様をはじめとした多様な主体とまちづくりの基本理念を共有しながら連携、協働し、将来にわたる計画を着実に遂行してまいりる所存であります。

今後とも市政の円滑な運営と施策の推進に一層の御支援と御協力を賜りますようお願いいたします。議員各位の今後ますますの御健勝と御活躍を祈念申し上げまして、お礼の御挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございました。

議長（大川弘雄君） 閉会に当たり、一言御挨拶申し上げます。

去る2月19日の定例会開会以来25日間、134億5,800万円余りの一般会計ほか7特別会計、水道事業会計合わせて総額226億4,900万円余りの新年度当初予算案をはじめ多数の重要案件について、連日にわたる審査、審議の中、本日をもって平成31年度予算等の成立を見ましたことを、議長として感謝申し上げますとともに、円滑な議事運営に各位の御協力を得ましたことを厚く御礼申し上げる次第でございます。

また、市長をはじめ理事者各位におかれましては、誠意を持って審議に御協力いただきまことにありがとうございました。

この4月から新たに第6次総合計画がスタートいたします。本市を取り巻く環境は極めて厳しい財政状況であり、このたびの予算編成におかれましても大変苦慮されたことと推測いたしますが、目指すべき10年後の将来都市像の達成に向け、理事者側の皆さんには英知を結集し、果敢に挑戦していただきたい、このように思っております。

この間の審議において、特に予算特別委員会委員長報告にもありましたように、財政健全化計画の確実な遂行に向けて議員各位から寄せられた御意見をはじめ、議会からの提言などを真摯に受けとめられ、今後の市政執行に際し十分反映し、真の住民福祉向上に向け職員一丸となって取り組まれるよう切に願うものであります。私たち議会も竹原市再生のため、ともに痛みを分かち合い、ともに進んでまいります。

これをもって平成31年第1回竹原市議会定例会を閉会いたします。

午後2時10分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成 年 月 日

竹原市議会議長

竹原市議会副議長

竹原市議会議員

竹原市議会議員